

# ユーザ企業におけるゴール指向要求分析法の導入とテスト効率化手法の提案

鹿島建設株式会社

清水靖則

yshimizu@kajima.com

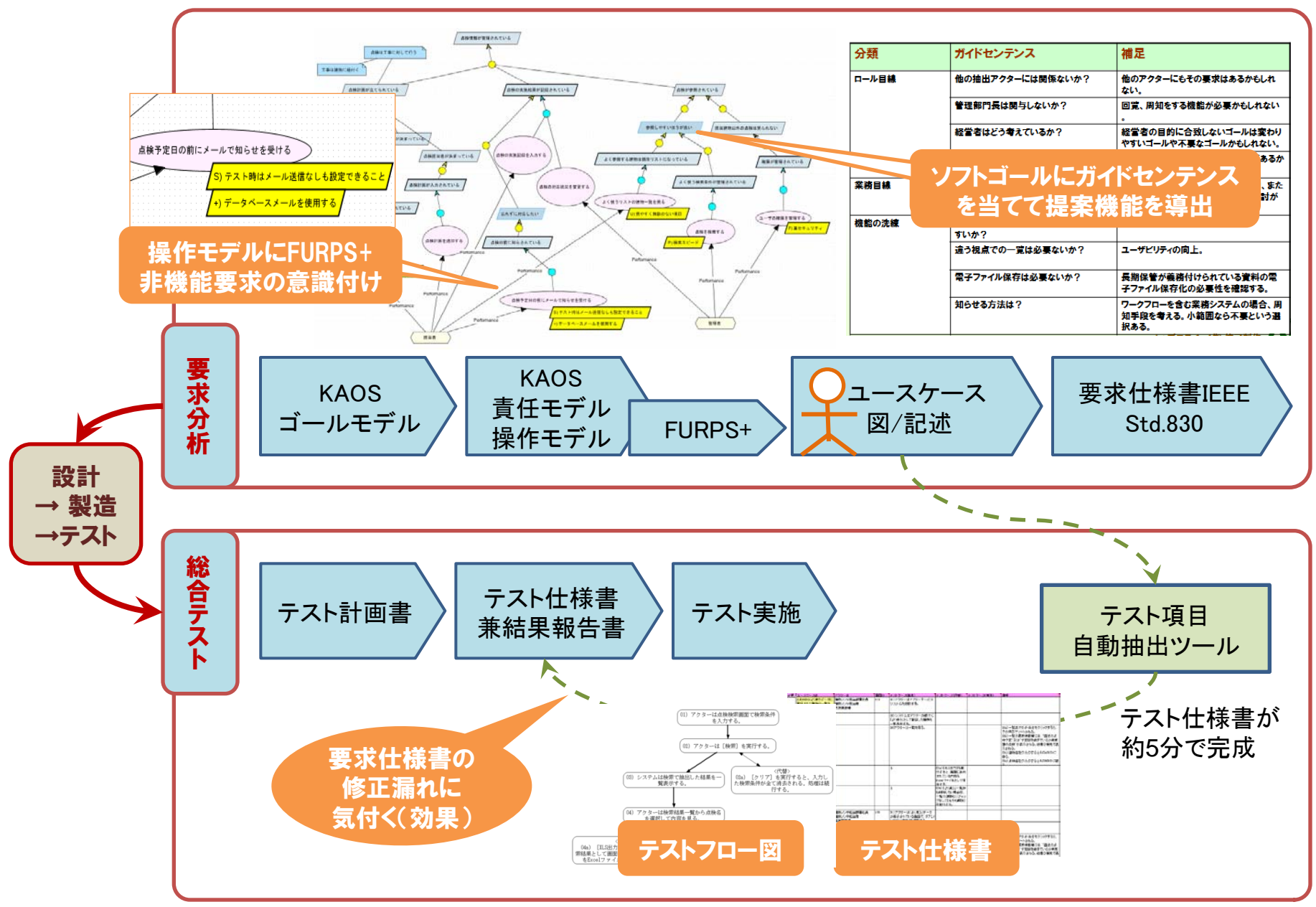
## 開発における問題点

曖昧で整理されていない要求分析は、開発中の手戻りによる納期遅延、リリース直後の追加開発、継続的な修正対応を招く。また、不十分な総合テストは、リリース後の不具合対応を招く。これらの工程を主体的にかつ確実にすることはユーザ企業側の役目であり、さらに機能や運用コスト低減策の提案が求められている。

## 手法・ツールの提案による解決

要求分析では、ゴール指向要求分析手法KAOSをベースに、分析の手助けを行うガイドセンテンスの作成を提案。また非機能要求の早期意識付けのためにFURPS+の取り込みを行った。総合テストでは、要求仕様書からテスト仕様書を自動作成する、テスト項目自動抽出ツールを使用した。

## KAOS & FURPS+による要求分析手順とテストの効率化



### 【今後の展開】

- ・KAOS用ガイドセンテンスの充実。要求分析の経験を抽象的なガイドセンテンスとして蓄積していく。
- ・ゴール指向要求分析と非機能要求分析を合わせたモデリング手法の更なる探求。